

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年2月20日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 7 週 平成31年2月11日 ~ 平成31年2月17日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	32	19	13	17	63	33	72	92	106	447		2	21	29	15	23	23	21	33	20	25	77	26	17	30	38	20	11	10	6

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~						
RSウイルス感染症	3				1	1		2	3	10	1		8	1																
咽頭結膜熱	2					1		2		5			3				1			1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	4	2		3	1	4	3	22	43			1	1	4	4	10	5	2	3	3	8								2
感染性胃腸炎	16	9	20	4	27	9	20	36	24	165		2	22	12	11	10	20	9	12	9	3	23	7							25
水痘					1			1	1	3			1									1								
手足口病	1									1				1																
伝染性紅斑	4		1	1	1	2		1		10				1	2	1	1	3	2											
突発性発疹	3		1					1	1	6			5	1																
ヘルパンギーナ										0																				
流行性耳下腺炎							1			1											1									

市内インフルエンザの定点あたり患者数は9.3人となり、警報レベルの終息基準となる10人を下回りました。定点医療機関からの迅速キットの検査結果では、インフルエンザA型の数が減少しています。インフルエンザB型の数は横ばいですが、昨シーズンと比較すると患者数は少ないです。また、環境保健研究所では、パロキサビルマルボキシル(商品名「ゾフルーザ」)の耐性試験を実施しており、2検体中1検体(A型インフルエンザウイルス(H3亜型))が耐性を示していました。定点あたりの患者数は終息基準となりましたが、市内の学校園や施設から報告される神戸モデル連絡票でのインフルエンザ患者の報告は続いています。十分な休養と栄養をとり、引き続きインフルエンザにかからないように注意しましょう。

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
369	11	0

眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎	1					1				2							1						1							

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:0歳4か月 女
○ノロウイルス感染症2例:1歳 男、2歳 女
○ロタウイルス感染症1例:2歳 男
中央区○アデノウイルス感染症2例:1歳 女、3歳 女
○ノロウイルス感染症1例:8歳 男
兵庫区○インフルエンザA型に2回目の感染1例:7歳 女
北 区○アデノウイルス感染症1例:2歳 女
西 区○アデノウイルス感染症1例:年齢性別不詳

【基幹定点からの報告】

インフルエンザによる入院6例:30代 1例、60代 1例、70代 2例、80代 2例(うち、インフルエンザA型2例、型別不明4例)

【全国の感染症の状況】

○麻しん

今年に入り三重県で麻しん患者が発生して以降、近畿各地でも麻しん患者の発生が報告されており、大阪市では商業施設での複数患者発生の事例が報告されています。神戸市でも今年に入り、1例届出がありました。感染の広がりはありませんでした。麻しんに感染すると、約10~12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。感染源が特定できない場合も多いですが、麻しんの発生地域への滞在歴や麻しん患者と接触した可能性があり、接触後に麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避け、マスクを着用して受診しましょう。

[麻しん\(はしか\)について 神戸市HP](#)

○風しん

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

全国で風しん患者発生の報告が続いています。平成30年第40週(10月1日~10月7日)から平成31年2月17日までに兵庫県では、55例、神戸市では、9例(0~4歳 1例、10代 1例、20代 1例、40代 3例、50代 2例、70代 1例)の報告(IgM抗体検査陽性による検査診断例および臨床診断例)がありました。

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「I」情報センター](#)ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)